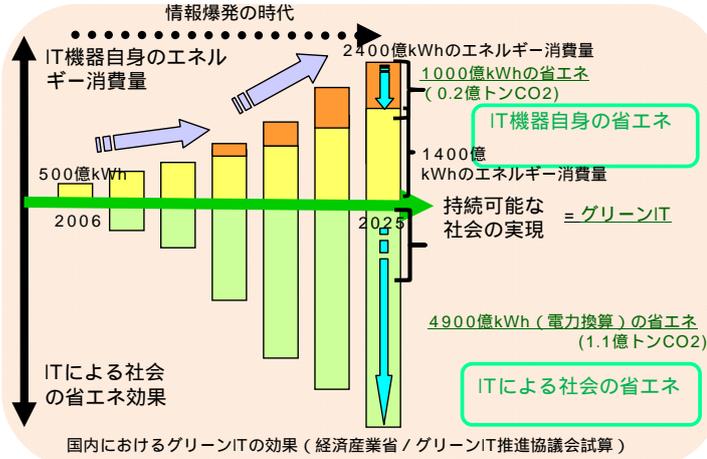


「グリーンIT」で世界を牽引

「IT機器自身の省エネ」と「ITによる社会の省エネ」を車の両輪として、日本発の「グリーンIT」を推進。低炭素社会と競争力強化を同時実現。



パワーエレクトロニクスやナノエレクトロニクスの拠点整備等

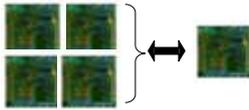


グリーンで高信頼なITインフラ(グリーン・クラウドコンピューティング)の整備に向けた技術開発・技術実証

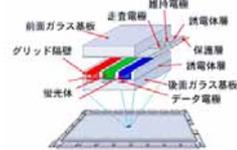


革新的省エネルギー技術開発の加速化

半導体の微細化



プラズマディスプレイパネル



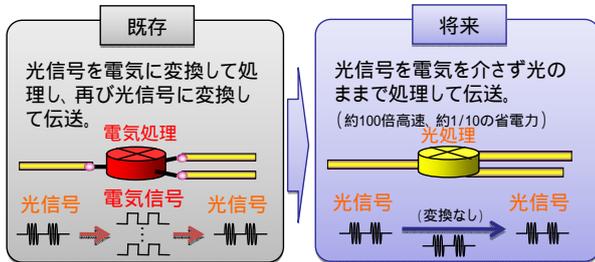
デジタル新産業の創出のための技術開発等の加速化

新たな経済成長を実現するためには、内需主導で国際競争力を有するデジタル新産業を創出することが急務である。国際的に戦略分野と認識されているICT分野で我が国が強みとする技術を見極め、これらの技術の研究開発等の加速化を図り、その早期の市場投入によりデジタル新産業の創出を実現し、産業の活性化・国際競争力の強化等の向上を目指す。

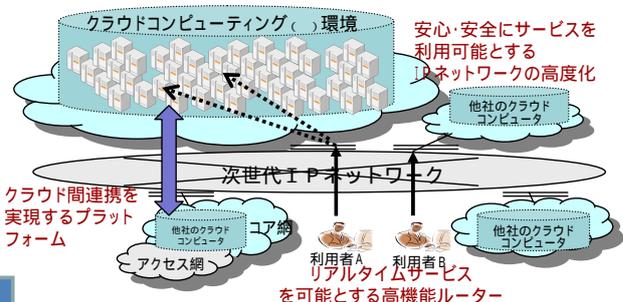
主な研究開発

() ユーザーが自分のコンピューターでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」を利用することができる新しいネットワークの利用形態。(クラウド=雲)

超高速化・省電力化を実現するオール光通信技術の研究開発



セキュアクラウドネットワーク技術の研究開発



新たなワイヤレス・ブロードバンド環境を早期に実現するテストベッドの整備



屋内の電化製品をワイヤレスで接続し、煩わしい配線から解放



最先端の情報通信技術を活用し、ぶつからない車を実現

眼鏡の要らない3次元映像技術の研究開発



通信・放送分野に加えて、医療、エンターテインメント分野等の様々な分野で新たな製品・サービスを創造。

プロジェクトの目的

中小企業でも安価で簡便に活用できるIT基盤を整備し、その普及を促進することで、受発注の効率化、在庫の効率的管理や、ビジネスマッチングによる新たなビジネス機会の創出などを可能とし、生産性向上を実現する。

プロジェクトの概要

今後3年間で100万社まで利用可能なソフトウェア・サービス型の中小企業IT基盤(J-SaaS)を整備。

- 1) 川上・川下や地域を超えた新しい取引先や顧客との連携を実現するビジネスマッチング機能
- 2) 新たな製品開発を関係企業と連携して可能とするCAD (computer aided design: コンピュータ支援設計)
- 3) 電子納税申請に加え、社会保険申請などの業務を簡素化する電子申請関連機能

J-SaaSのサービスを地域の隅々まで普及するとともに、IT経営の円滑な導入を推進するため、各地域の現場でユーザの取組を支えるベンダとのマッチングを進める。

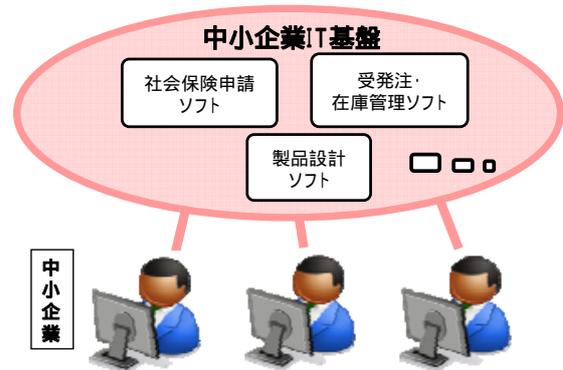
ITによる中小企業の経営革新事例

< 実例 >

~受注業務の効率化により売上をアップ~ < 飲食店 >

伝票処理を2週間から約10分に短縮、記入ミスを5分の1に削減

し、5年前に比べ売上高が2.4倍に。

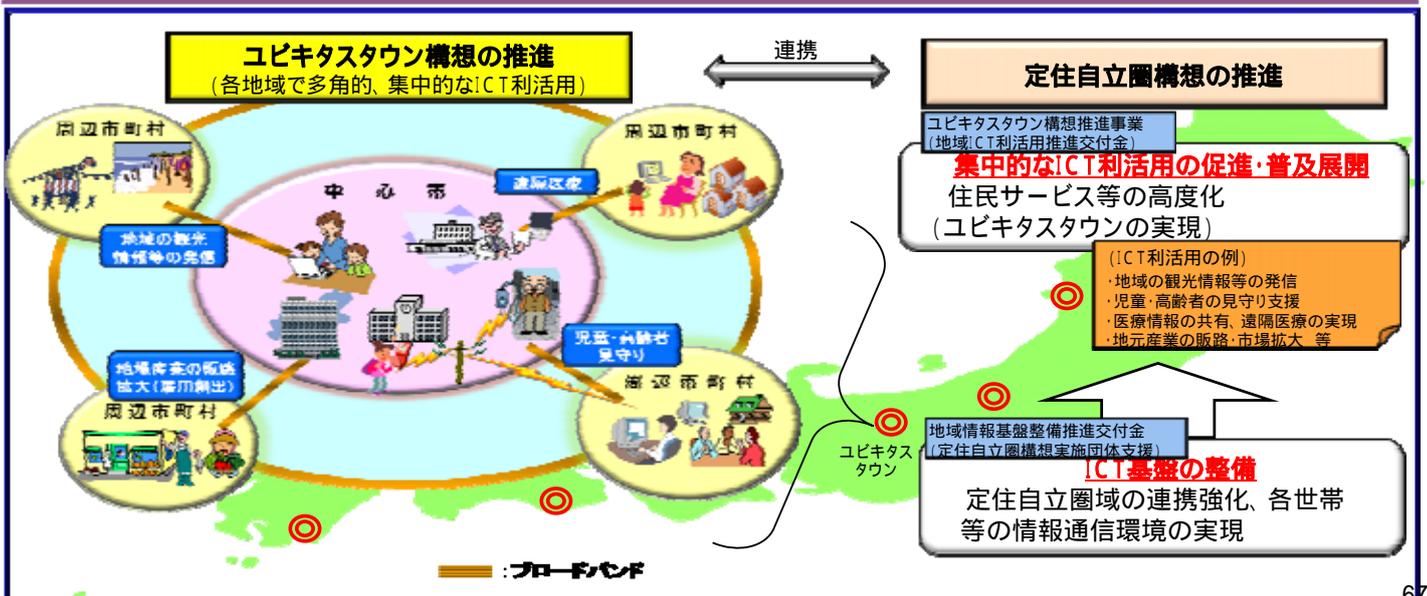


ICTを活用した安心・安全な街づくり (ユビキタスタウン構想) ~ ICTによる定住自立圏構想の推進 ~

地方において、医療、福祉、防犯、雇用など様々な分野で諸課題を抱える中、**ICTの集中的な利活用により、地域住民が安心・安全を実感できる街づくり(ユビキタスタウン)**を早期に実現することが不可欠。

「いつでも、どこでも、何でも、誰とでも」ネットワークにつながるユビキタス技術が、全国各地域において十二分に活用されるように促進し、もって、**定住自立圏の形成を推進する。**

ICTの基盤整備・利活用の促進・普及展開により、地域の活性化を多面的に実現



2020年に向けた課題

【課題1 . 世界の消費者に向け、販路を直接開拓】

重点プロジェクト (1)

【課題2 . ソフトパワーの流通・貿易環境を整備】

重点プロジェクト (2)

【課題3 . ソフトパワーを活用した地域経済の戦略的活性化】

重点プロジェクト (3)

重点プロジェクト

(1) ソフトパワーの海外展開支援

コンテンツ海外展開ファンドの創設

- 官民の出資の下、ファンドを創設。海外ライセンスを取得・集積し、コンテンツ海外展開ビジネスを展開。国際共同制作や、ソフトビジネスの海外展開も支援。(官民からの出資により創設)

コンテンツ・地域産品の海外向け販路の開拓

- 海外のソフトパワーイベントの間での相互出展、マッチングやプロモーション支援等を実施。
- 継続して販路開拓を支援するために、事前の市場調査、アンテナショップの設置等の店舗展開、ディストリビューター(代理店・コーディネーター機能)の確保等を行う。
- 現地日本人/在日外国人を活用しパイパーネットワークを形成
- クールジャパンに敏感なアジアの消費トレンドを収集・発信

(2) 次世代著作権取引システムの整備

- 権利の所在をリアルタイムで把握できるデータベースを提供する、著作権情報集中処理機構の設立など、次世代の著作権取引システムを整備。新たなコンテンツビジネス開発の阻害要因となっている、複雑な権利処理を円滑化。

(3) 地域発ソフトパワー発信機能の強化

- 地域ブランド・農商工連携による食文化、地域産品の創出と海外販路開拓、観光客誘致プログラムを推進。
- 「地域発Cool Japan プロモーションプロジェクト」により、自然、地域産品等地域の魅力を若手クリエイターの力によって映像コンテンツ化し、こうした活動に戦略的に活用。
- 地域の商店街等での集客の核となる映画館のデジタル化を促進。

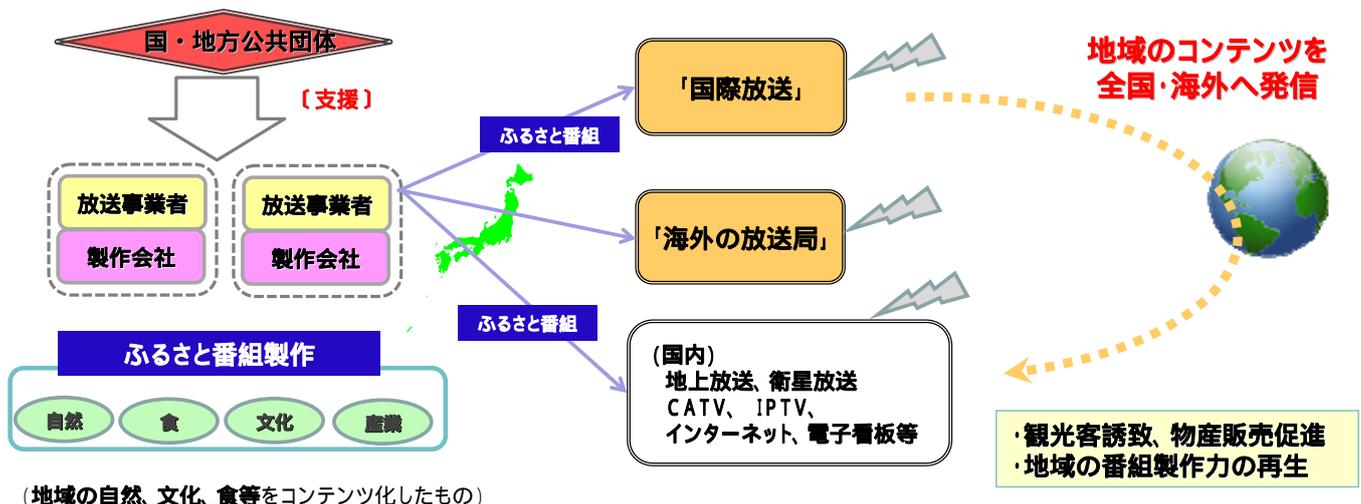
ソフトパワーと新規市場創出・海外市場開拓の好循環を確立。コンテンツ産業をはじめ、ソフトウェア分野を一大産業へと育成。

68

地域の情報発信力の強化(地域製作の放送コンテンツ発信等)

地域経済の振興、地域の番組制作力の再生を図るため、以下の取組を支援する。

-) 放送局や番組制作会社が各地の物産・観光資源等を紹介するコンテンツを制作すること
 -) 上記コンテンツを、地上放送、衛星放送、国際放送、海外の放送局、インターネット等を介して、全国各地及び海外に発信すること
- これにより、観光客誘致、地域の物産販売が促進され、地域経済活性化に資することを期待。



(地域の自然、文化、食等をコンテンツ化したもの)

その他、教育分野等における放送コンテンツの流通促進に向けた実証実験

39

メディア芸術の国際的な発信拠点の形成

日本のメディア芸術は世界的に評価が高く、日本文化の発信のため極めて有効である。

文化庁では、日本映画のナショナルアーカイブ化を推進するとともに、メディア芸術を国際的に発信するための拠点の形成を行う。



伝統的な文化による地域活性化と文化力の向上

過疎化、少子高齢化の進行や、生活様式の変化の中で、地域の伝統文化が消失の危機にある。

地域の伝統文化の保存団体による伝承・活用事業等を支援することにより、安定的な活動を可能とし、均衡のとれた地域文化の発展と活力と独自性のある文化芸術を次代に継承していく。



文化インフラの整備

国民が我が国の宝である優れた美術品、文化財や優れた現代舞台芸術を鑑賞するための文化インフラを整備することは非常に重要である。

我が国の文化発信の拠点である国立美術館、国立博物館の改修等を実施することにより、より良好な環境を維持し、国民の文化鑑賞機会を確保する。



文化財の緊急防火・防犯対策

文化財は、いったん滅失してしまうと取り返しのつかない貴重な国民的財産である。

文化財の緊急防火・防犯対策としては、消火器や自動火災報知設備など消防法で義務付けられた設備に加え、放水銃等の消火設備及び監視カメラ等の防犯設備に対して補助を行っていく。



国民に夢と希望を与えるスポーツの環境整備

ナショナルスポーツ施設等の整備

代々木競技場の整備

国立スポーツ科学センター(西が丘サッカー場等)の改修

国立スポーツ科学センター研究施設設備の整備



陸上トレーニング場



ナショナルトレーニングセンター

競技強化支援事業の充実

スポーツ団体の選手強化、トップリーグの運営及びスポーツ団体の大会開催に対する支援
世界最先端のトレーニング機材の整備



地域のスポーツ施設の整備

全国の市町村にスポーツ施設(体育館・陸上競技場等)を整備
校庭の芝生化



中学校武道場等の整備

平成24年度からの中学校武道必修化に向けた武道場整備の推進
青少年教育施設における武道場の整備



